

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 704 2026年 6月号 1部60円 友の会会員は会費に含まれています 発行 東京勤労者医療会代々木病院 院長 河邊 博正 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7 TEL 03(3404)7661 http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi

みんなに笑顔があふれ、地域の輪が広がる ~食べて、体操して、伝統芸能に触れる~

青空のもと「第30回代々木病院健康まつり」



天候にも恵まれての開催 (東館駐車場のテント会場)

5月16日、第30回代々木病院健康まつりを開催しました。今年の健康まつりは、地域から千駄ヶ谷東部町会が参加され防災への関心を高めていた...



あいさつする河邊院長

友の会の布施会長は「津田塾大学の参加や国立音楽堂の協力など新たなつながりが広がっています。」とあいさつしました。



八鼓会の和太鼓と笛の音で華やかにスタート

昨年とは違い、天候にも恵まれ青空のもとでの開催となりました。オープニングは、お馴染みの八鼓会の和太鼓と笛の音で華やかにスタートしました。...



国立音楽堂の伶以野(レイヤー)陽子さんによる「能楽体験」講座



内科医師のご紹介 山口高史医師

★患者さんへ一言

医師として26年間、消化器疾患を専門にしておりましたが、専門にとらわれず、地域医療に貢献できるよう努めてまいります。地域の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

興組合の岡崎会長から病院への期待を込めたあいさつもいただきました。東館駐車場では、各職員の販売、また豪華景品の当たる「福引」などが盛り上がり、親御さんもお喜び、周りからも「かわいい」という声もあり...

千駄の萱

▼9月に控えた沖縄県知事選。最大の争点は混迷を極める辺野古新基地建設だ。政府は「普天間の危険除去」を掲げるが現実はどうだろうか。埋め立て開始から7年以上経っても進捗はわずか17%。このままのペースでは完成に40〜50年もかかり、普天間基地の「永久固定化」を招きかねない。着工前から最深90Mに達する軟弱地盤の解決が示されないまま、巨額の税金が投じられ続けている▼

「基地の永久固定化は断固認められない」とし、県外・国外移設を強く訴えている。また、基地問題以外にも公約とした「県経済と県民生活の再生」「子ども・若者・女性支援施策のさらなる充実」を中心にさまざまな施策の推進に取り組む、中学卒業までの医療費窓口無料化などを着実に前進させてきた▼「強い風が吹くほど、二つの足をしっかりと踏ん張る」。子や孫に平和な沖縄を引き継ぐため、疾風に耐える勁草(けいそう)のような信念を持つ玉城デニー氏に、再び未来を託すべきではないだろうか。(て)